

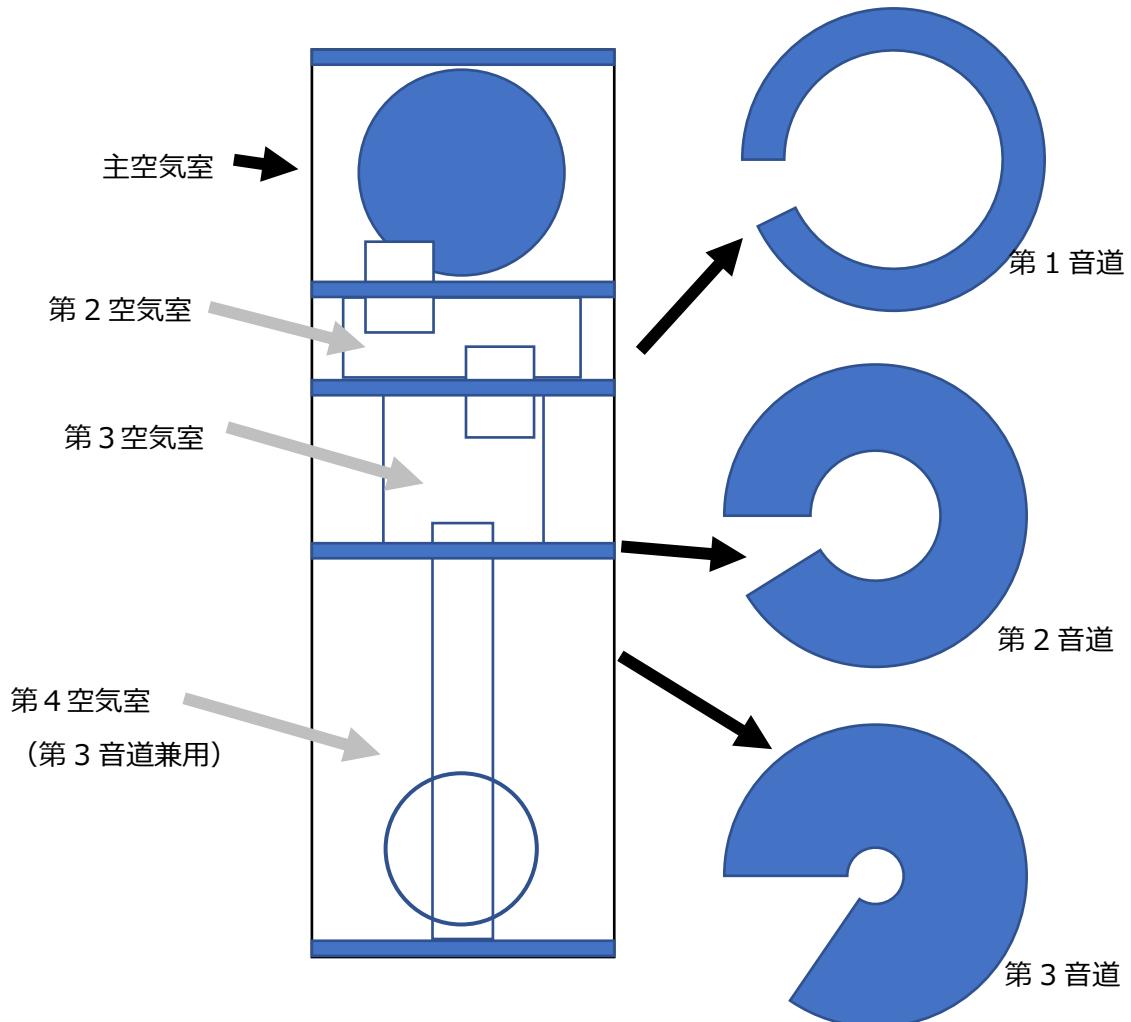
テーマ3 Hybrid システム (バックロードバスレス/クワトロバスレフ)

加藤 剛

かねてより、チューブ素材を用いたバックロードシステムの構想を持っていた。基本的には径の異なるチューブの内径、外径の差を利用して音道を形成するアイデアは持っていた。しかし、内側のチューブの内部の体積がもったいないと考えていた。

昨年末、Iさんと呑んでいるときにハイブリットのアイデアをお教えいただいた。このIさんは9月のオフ会で出品されたとおりバックロードとバスレスを担当するユニットが独立した設計であつた。今回のコンセプトは、バックロードとバスレスを担当するユニットを共有し、エンクロージャー(20×60cm)の体積を無駄なく使いきるものとした。パクリではなくあくまでもオマージュです。

図面



仕様

ユニット：オンキヨーサウンド株式会社 OM-MF101

エンクロージャー

バスレフ側

主(第1)空気室： 4.4 L
第2空気室： 1.78L (φ150 ボイド管)
第3空気室： 1.18L (φ100 ボイド管)
第4空気室： 8.00L
第1ポート：内径：38mm、長さ：50mm
第2ポート：内径：38mm、長さ：50mm
第3ポート：内径：5mm、長さ：350mm
第4ポート：内径：60mm、長さ：70mm

バックロード側

主(第1)空気室： 4.4 L
第1音道：断面積： 21.5cm²、長さ：53.7cm
第2音道：断面積： 110.3cm²、長さ：38.1cm
第3音道：断面積： 196cm²、長さ：37.4cm
(音道長さはドーナツ状の孤の中心線の長さとした)